

# 次期森林計画についての森林管理署の検討方向 〈第6次天草森林計画区〉

## － 目 次 －

### 1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項

### 2. 次期計画の検討方向

熊本森林管理署

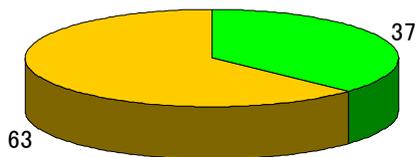
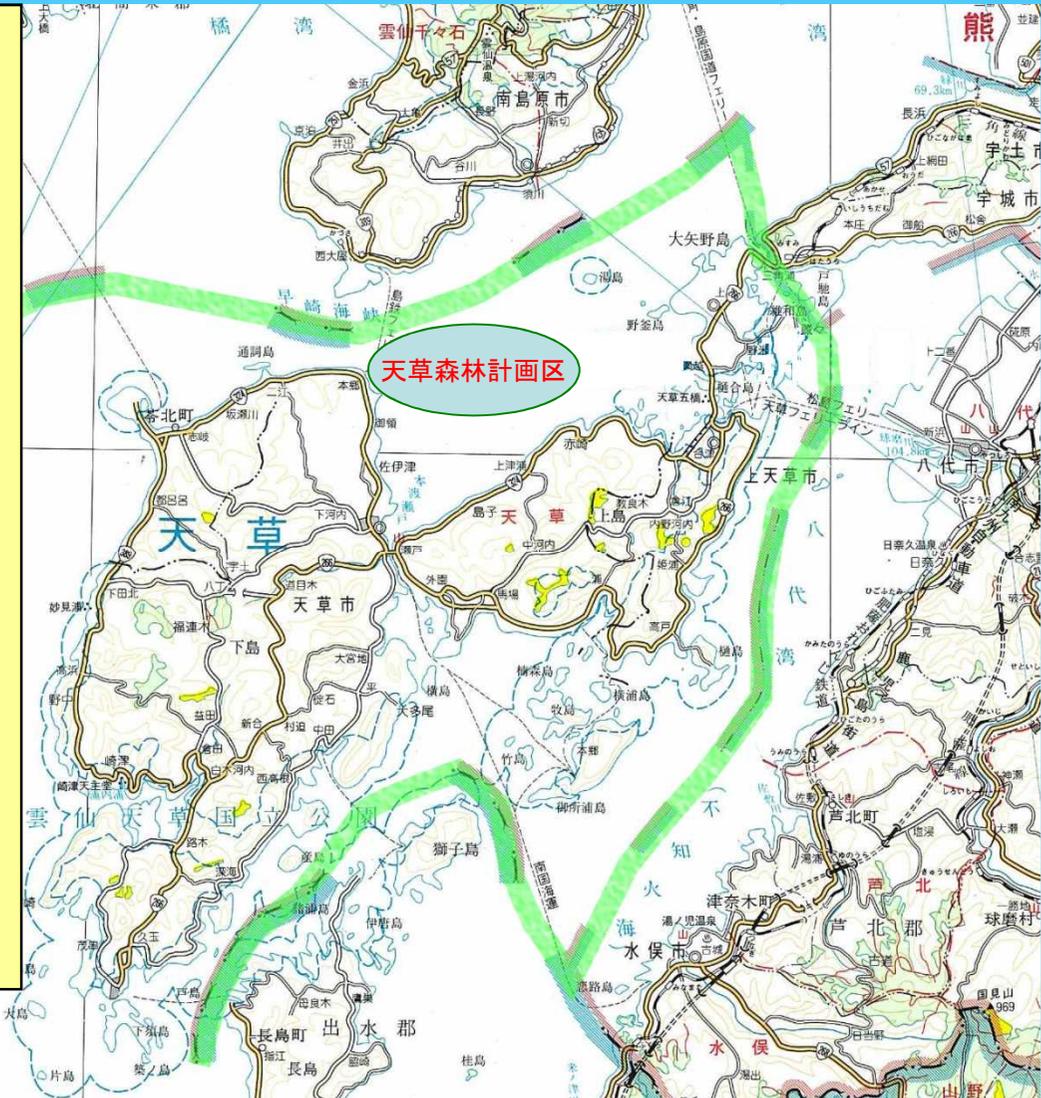
# 1. 現行計画の概要(平成28年4月1日～令和3年3月31日)

・天草森林計画の対象は、県西部に位置する天草地区の上島の三角港対岸地域及び下島の中央部地域に存在する国有林野838haと両島に点在する官行造林の323haがあります。

・また、計画内は天然林が多く占めるものの人工林が37%を占めています。

・下島の中央部地域に存在する国有林野ではスギ、ヒノキの人工林が主体であるが、シイ類・カシ類の常緑広葉樹も多く下流域の水がめとしての役割も担っており、水源涵養機能を高度発揮しています。

・保護林として貴重な天然林等を適切に保護しています。



■ 人工林  
■ 天然林

## (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

### ① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (94ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (20ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (-ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (-ha)	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (723ha)	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入などによる育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

## ② 流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組めます。

林業技術向上のための現地研修会を実施しています。



管内国有林内において、低コスト林業等の実現に資する現地検討会に関係自治体等を招いて開催するなど、民有林への技術や知識等の普及に取り組んでいます。

国民の森林としての管理経営を推進しています。



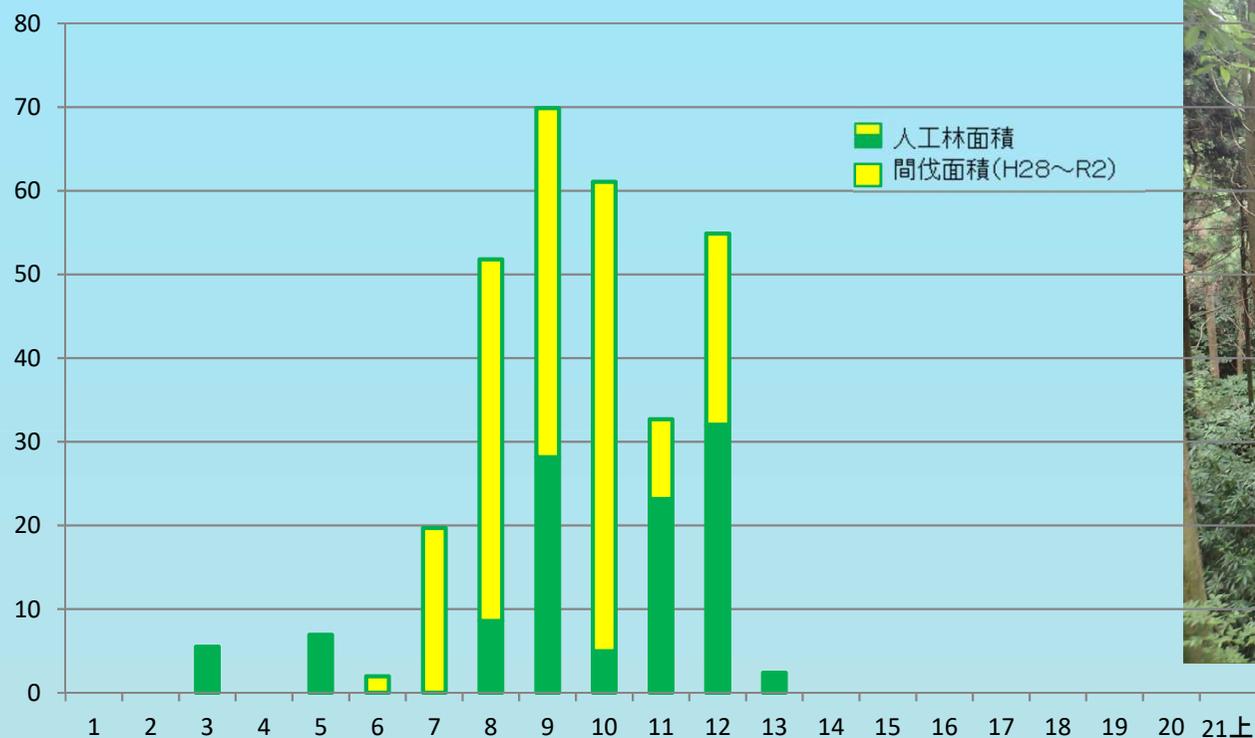
関係市町村等と協議会を通じ鳥獣被害対策等について、民有林と国有林が連携して鳥獣害対策の推進に取り組んでいます。

### ③ 森林吸収源対策に向けた積極的な間伐の推進

本計画区の人工林の面積は約307haで、16年生から60年生の人工林の面積は約299ha（人工林面積の97%）です。

また、現行計画（H28年度～R2年度）では間伐を約195ha計画し、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。

面積(ha)



注：1年齢級は1～5年生を表します。



間伐を実行した人工林

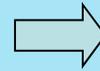
年齢級

#### ④ 多様な森林の整備

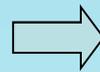
間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



針広混交林



長伐期化された森林

## (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

### ① 生物多様性の保全(保護林)

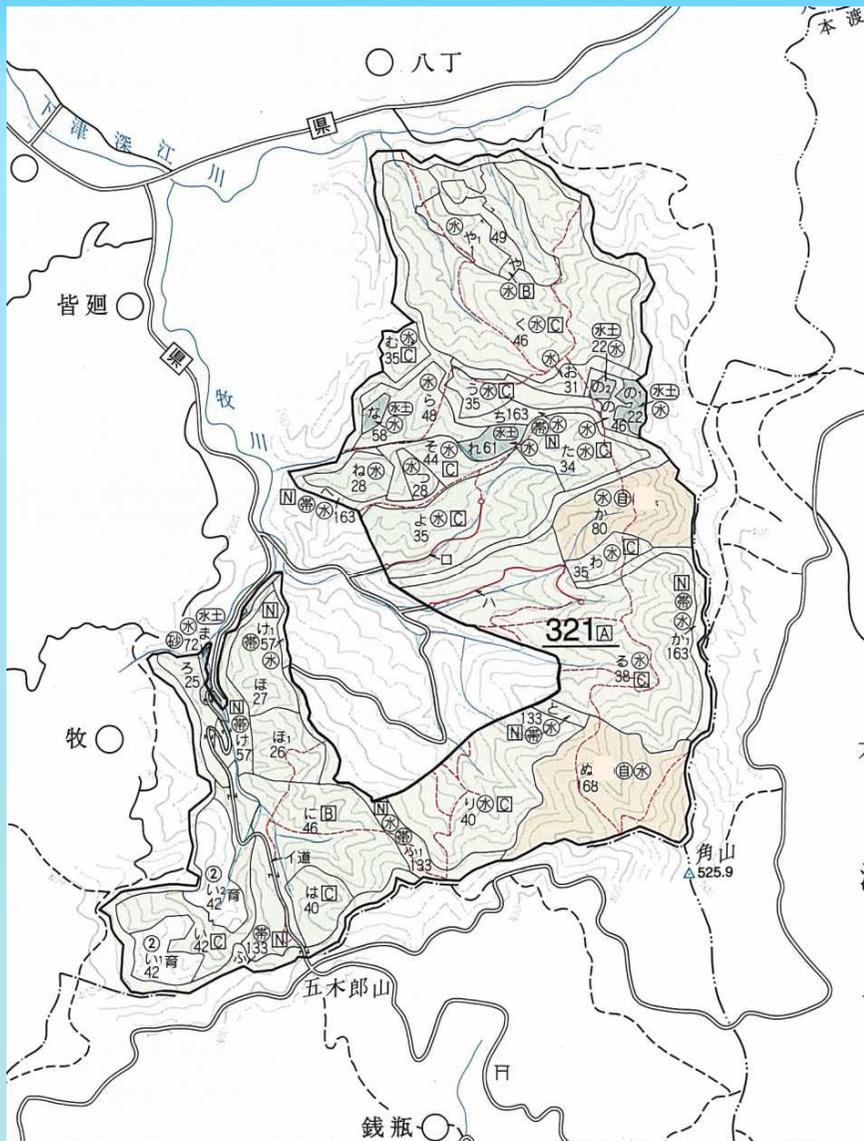
本計画区には貴重な自然環境としての天然林等が存在しており、保護林を設定し適切に保護・保存を図っています。

種類	名称	特徴等	面積 ha
希少個体群保護林	フクレギシダ	温暖性下位植生の植物学的考証	7

注:希少個体のため、生育地ではなく国有林を示しています



# 希少個体群保護林



フクレギシダ希少個体群保護林321林班



フクレギシダ希少個体群保護林321林班

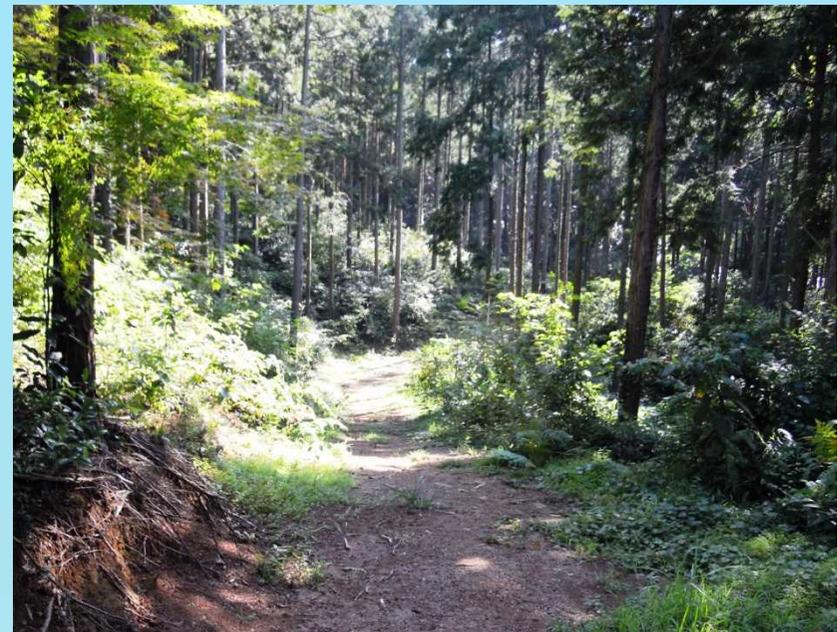
### (3) 林産物の供給に関する事項

#### ① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。

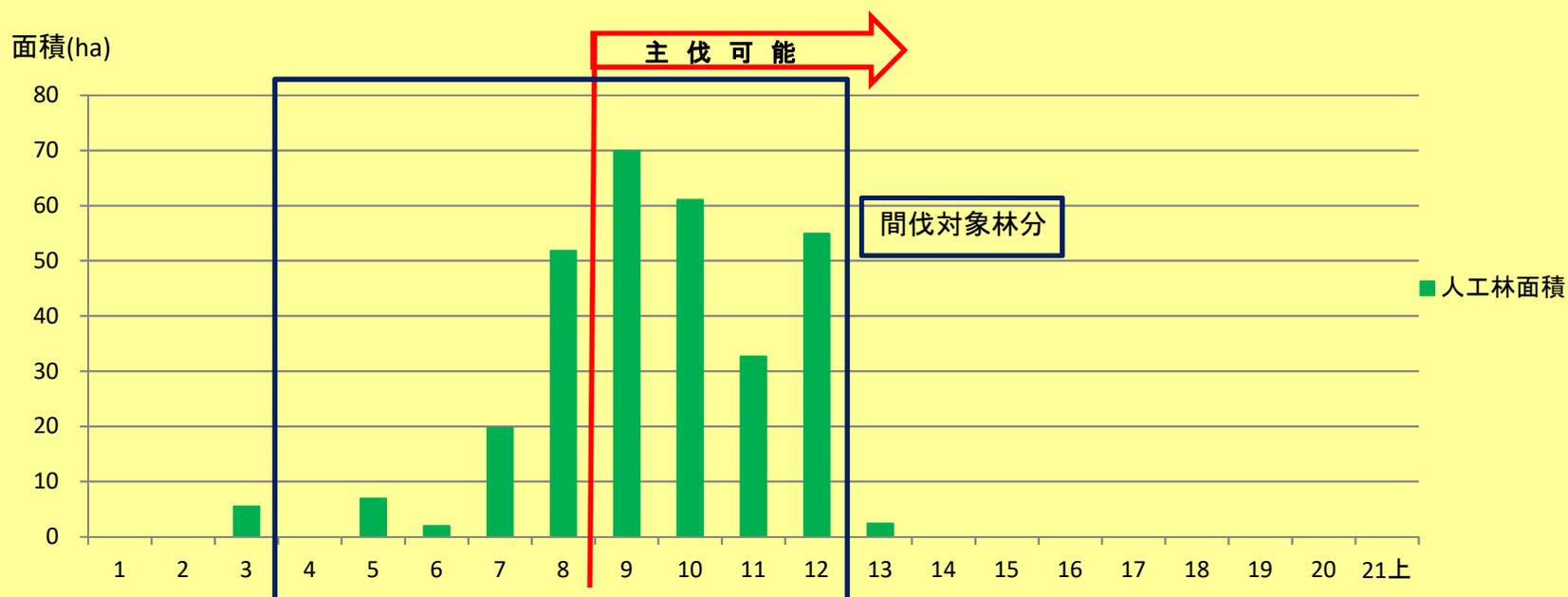


林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

## 2 次期計画の検討方向

### (1) 管理経営上の課題

- ・本計画区の国有林野が有する水源涵養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- ・次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は97%と現行計画と同程度で有り、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き間伐を推進する必要があります。
- ・将来的に均衡がとれた齢級構想に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進し、森林資源の循環利用を行うことにより、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を図るとともに、森林吸収源対策にも貢献する必要があります。



- ・ 森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。
- ・ 本計画区には保護林を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に対応していく必要があります。
- ・ 国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・ エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・ 地元住民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

## (2) 計画内容

- ・ 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた年齢構成に移行されることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- ・ 野生鳥獣による森林被害について、地域と連携した防除活動を推進するとともに、野生鳥獣の生息環境となる針広混交林等へ誘導するなど、野生鳥獣との共存に配慮した対策を推進する方向です。
- ・ 貴重な植物種の保護を目的とする保護林については、現状を維持する方向です。
- ・ 社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、協定締結による、森林づくりを推進する方向です。
- ・ 生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・ これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図る観点から、これらを含む国有林材のシステム販売に努める方向です。
- ・ 民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組み、災害の減少に努める方向です。